

令和 2 年度 決算

普通会計決算認定特別委員会説明資料

未来創生文化部

目 次

I	令和2年度未来創生文化部主要施策の成果の概要	1
II	主要事業の内容及び成果	4
III	歳入歳出決算額	16
1	一般会計決算額	16
(1)	歳入決算額	16
(2)	歳出決算額	17
2	特別会計決算額	18
(1)	歳入決算額	18
(2)	歳出決算額	18

I 令和2年度 未来創生文化部主要施策の成果の概要

1 県民との協働事業の推進

(未来創生政策課)

県民の参加と協働による地域づくりを実現するため、NPO、ボランティアなど、県民の自主的・自立的な社会貢献活動を促進する各種支援事業を行い、県民との協働事業の推進を図った。

2 アクティブ・シニアの活躍推進

(ダイバーシティ推進課)

高齢者の生きがいや健康づくりを支援するため、学びの場を創出し、学習内容の充実を図るとともに、新たに「アクティブシニア地域活動支援センター」を開設し、「生きがいづくり推進員」をはじめとしたアクティブ・シニアによる活動の活性化を図った。

また、「生涯活躍のまちづくり」を推進するとともに、地域に住む全ての人々が気軽に利用できる多世代交流・多機能型福祉拠点である「ユニバーサルカフェ」の整備を推進した。

3 障がい者のスポーツ・文化芸術活動の推進

(ダイバーシティ推進課)

「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催及びその後を見据え、誰もが暮らしやすいユニバーサルデザインのまちづくりに関する取組みを促進するとともに、障がい者スポーツの振興を図ることを目的に、スポーツを通じた障がいのある人とない人の交流機会を創出した。

また、障がい者芸術文化を通じた幅広い交流を促進するため、「徳島県障がい者芸術・文化活動支援センター」を中心とした芸術文化活動を推進した。

4 国際交流と多文化共生の推進

(ダイバーシティ推進課)

グローバル人材の育成や地域の国際化を図るため、ドイツ・ニーダーザクセン州をはじめとする友好交流提携州・省との相互交流を実施するとともに、外国人が住みやすい多文化共生のまちづくり、国際社会に貢献する環境づくりを推進した。

5 人権を尊重する社会づくりの推進

(男女参画・人権課)

「徳島県人権教育・啓発に関する基本計画」に基づき、県民の人権意識の普及高揚を図り、同和問題をはじめ、女性・子ども・高齢者・障がい者など様々な人権問題の解決に向け、各種啓発事業を実施するとともに、人権啓発を効率的・効果的に進めるため、市町村や民間団体との連携・協力を図り、それらが実施する創意工夫のある取組みを支援した。

また、本県における人権教育・啓発の推進拠点である人権教育啓発推進センター「あいぼーと徳島」の適正な運営を図った。

さらに、市町が設置・運営する隣保館に対して支援を行うとともに、隣保館活動の活性化に向け、相談機能の強化を図るなど、地域住民の一層の交流促進に努めた。

6 男女共同参画社会づくりの推進

(男女参画・人権課)

男女共同参画社会の実現に向けて、「徳島県男女共同参画基本計画」に基づく各種施策を推進するとともに、男女共同参画講演会やイベント等の啓発事業を開催・支援するほか、女性活躍の機運醸成と一層の意識啓発を推進した。

また、男女共同参画の総合的な推進拠点である「ときわプラザ（男女共同参画交流センター）」の更なる支援機能の充実を図るため「ときわプラザ（男女共同参画総合支援センター）」を整備した。

さらに「配偶者暴力防止及び被害者保護に関する徳島県基本計画」に基づき、配偶者等からの暴力の根絶を目指し、若年層も対象とした普及啓発、被害者に配慮した相談体制・保護体制の充実、自立支援に取り組むとともに、性暴力被害者支援センター「よりそいの樹とくしま」を運営し、女性に対するあらゆる暴力防止に関する対策の推進を図った。

7 次世代育成支援対策の推進

(次世代育成・青少年課)

「第2期徳島はぐくみプラン（後期計画）」に基づき、少子化対策をより一層強化し、「希望出生率1.8」をかなえるため、結婚、妊娠・出産、子育てまでの切れ目のない支援を実施するとともに、「子ども・子育て支援新制度」の円滑な実施に向け、市町村との緊密な連携の下、待機児童解消に向けた保育士確保、認定こども園・保育所の整備や、「新・放課後子ども総合プラン」の着実な推進など、地域の実情や子育て家庭の多様なニーズに応じた子育て環境の向上に努めた。

また、複雑化する児童虐待問題に対応するため、こども女性相談センター職員の専門性の向上や、広報・啓発事業を実施したほか、市町村における要保護児童対策地域協議会の活動をはじめ、子ども家庭支援体制の強化を推進するとともに、関係機関相互の連携強化を進め、虐待事案の早期発見・早期対応を図った。

さらに、「徳島県ひとり親家庭等自立促進計画」に基づき、ひとり親が仕事と子育てを両立しながら自立し、子どもが将来に希望を持って健やかに成長できる環境づくりに向け、就業・生活・経済的支援から子どもへの学習支援に至るまで、貧困の連鎖を断ち切るべく、幅広い施策を総合的に推進した。

8 青少年対策の推進

(次世代育成・青少年課)

「とくしま青少年プラン2017」に基づき、全ての青少年が自立・活躍できる「とくしま」の実現に向け、家庭・学校・地域との連携を一層図り、社会生活に困難を抱える青少年の連携支援、非行防止に向けた環境づくり等、県民総ぐるみによる青少年育成を推進した。

さらに、青少年の活動拠点である「とくぎんトモニプラザ（青少年センター）」について、引き続き魅力ある管理運営を行うとともに、新たな青少年センター整備に向けた検討を行い、基本方針を策定した。

9 文化の振興

(文化・未来創造課)

東京2020オリンピック・パラリンピックやワールドマスタースゲームズ2021関西、さらには2025年の大阪・関西万博を絶好の機会と捉え、「あわ文化4大モチーフ」や「あわ三大音楽」を中心に、「あわ文化」の魅力に更に磨きをかけ、国内外に発信するとともに、二度の国民文化祭の成果を継承・発展させるため、県民が主役となる文化活動の積極的な展開を推進し、次世代・後継者育成や地域活力の向上を図った。

また、引き続き本県の文化活動の拠点である、あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）、文学書道館及び阿波十郎兵衛屋敷の魅力ある管理運営を行うとともに、県市協調による新ホール整備に向けた検討を行い、基本方針及び基本計画を策定した。

10 文化財の保存・活用の促進

(文化資源活用課)

文化財の保護・保存を推進し、地域の新たな観光資源として、その将来的な継承や利活用を通じて徳島の魅力発信を図るため、地域の特色を示す様々な文化財の保存・活用や環境整備を実施するとともに、県内文化財の総合的な保存・活用の方針を定める「徳島県文化財保存活用大綱」を策定した。

また、「四国遍路」及び「鳴門の渦潮」の世界遺産登録に向けた取組みを推進するとともに、「板東俘虜収容所関係資料」のユネスコ「世界の記憶」登録を目指した施策展開を図った。

11 世界に輝く「あわ文化」の創造・発信

(文化の森振興センター)

「文化の森総合公園」が開園30周年を迎えるにあたり、記念事業として、「ドイツ・ニーダーザクセン州友好展覧会」や「野外彫刻展」を開催したほか、「鳥居龍蔵」生誕150周年を記念したフォーラムの開催など、魅力ある企画展やイベントを実施した。

また、「新未来型展示」へと再構築を行う県立博物館新常設展のグランドオープンに向け、展示製作を行うとともに、機運の醸成を図るため、コンセプトや見どころを積極的にPRするプレビュー展や移動展を開催した。

さらに、本県の古環境、古生物の実態解明と、それによる地域活性化を促進するため、大型重機を活用した日本最古級恐竜化石含有層の発掘調査と周辺環境調査及び魅力発信事業を実施した。

12 スポーツの普及振興

(スポーツ振興課)

子どもの体力向上や高齢者の健康増進の機会を創出するため、「総合型地域スポーツクラブ等を活用した健康づくりと地域の活性化」を進めるとともに、国際スポーツ大会等への出場選手輩出や国体の順位向上など「競技力の向上」に向けた「トップレベル競技者・指導者の育成」や「施設等の整備」を図った。

13 国際スポーツ大会レガシーの創出・継承

(スポーツ振興課)

「東京2020オリンピック・パラリンピック」の事前キャンプ受入に向けた準備や、「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の開催準備を進め、スポーツを通じた交流の拡大を図った。

Ⅱ 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事業内容及び成果
県民との協働事業の推進	地域活力再生ボランティア活動促進事業	地域活力の再生に向け、県民のボランティア活動を促進するため、「とくしまボランティア推進センター」を拠点として、時代の変化を見据えた、地域の抱える課題に対応した各種支援事業を実施した。 (21, 781)
	とくしまパートナーシップ推進事業	NPO、ボランティア、地域づくりなどの県民の自主的・自立的な社会貢献活動を促進するため、「とくしま県民活動プラザ」を拠点として、活動・交流の場の提供など各種支援事業を実施した。 (39, 728)
	とくしま共助支援プロジェクト	共助社会実現のため、フォーラム等の開催により社会貢献活動に対する県民の機運醸成を図るとともに、学校等への出前授業などを通じた次世代の人材育成、さらに、NPOの活動を支援するため、法人運営・資金に関する各種講座・研修などを実施した。 (1, 943)
	吉野川交流推進費	川を生かした個性的で魅力ある地域づくり等の推進を図るため、吉野川を取り巻く多様な連携・交流の推進や県内外に向けた情報発信等を行う「吉野川交流推進会議」の運営を支援した。 (240)
	大規模災害被災者等支援費	今後発生する大規模災害への備えとして創設された「徳島県大規模災害被災者等支援基金」の周知を行うとともに、寄附の促進のため、募金活動を行った。 (15)
アクティブ・シニアの活躍推進	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	高齢社会を明るく活力のある長寿社会とするため、高齢者の生きがいと健康づくりや長寿社会についての意識啓発等を推進するとともに、地域活動や社会貢献活動の担い手となって活躍する「生きがいづくり推進員」の活動を支援した。 (95, 729)
	ユニバーサルカフェ整備推進事業	地域における多様な生活・福祉ニーズに幅広く対応するため、子どもから高齢者、また障がいの有無や国籍を超えて、地域に住む全ての人々が気軽に利用できる多世代交流・多機能型福祉拠点である「ユニバーサルカフェ」の整備を促進した。 (550)
障がい者のスポーツ・文化芸術活動の推進	東京2020パラリンピック・芸術文化活動応援事業	世界最大のスポーツ・文化の祭典である東京2020パラリンピックの機運醸成と、障がいに対する県民理解の一層の深化を図るため、障がい者交流プラザに障がい者アーティストによる絵画等芸術作品の常設展示場を開設した。 (4, 496)

項 目	事 業 名	事業内容及び成果
障がい者のスポーツ・文化芸術活動の推進 (続き)	全面サポート！パラスポーツ推進体制強化事業	誰もがスポーツに関心を抱き、携わることのできる環境づくりを推進するため、障がい児(者)を対象とするスポーツ教室や、障がいのある人もない人も楽しむことができるパラスポーツ大会の開催等、競技力の向上と、裾野の拡大につながる取組みを推進した。 (17,944)
	とくしま共生アートプロジェクト推進事業	障がい者による芸術文化活動の一層の振興を図るため、「障がい者芸術・文化活動支援センター」と連携して障がい者アーティストの創作活動や作品発表を支援し、芸術文化活動を通じ、障がいへの理解と障がいのある人とない人との交流を促進した。 (17,000)
	心のバリアフリー☆ステップアップ事業 (一部障がい福祉課等所管事業含む)	障がいの有無、性別、年齢等にかかわらず、すべての県民がお互いに人格や個性を尊重し、支え合いながら暮らすことのできる共生社会を実現するため、ユニバーサルデザインに係る優良な取組みの表彰を行い、「ユニバーサルデザインによるまちづくり」を推進した。 (49)
	地域で暮らすサポート事業 (一部障がい福祉課等所管事業含む)	障がい者スポーツの振興と障がい者の体力の維持増強を図るとともに自立と社会参加の推進に寄与することを目的に、障がい者スポーツ指導員を配置し、障がい者スポーツに関する環境整備を図った。 (4,816)
国際交流と多文化共生の推進	国際人材育成・交流事業	グローバル人材の育成や地域の国際化を推進するため、ドイツ・ニーダーザクセン州等との交流を実施するとともに、関係機関とも連携し、諸外国との交流を促進した。 (302)
	外国人にやさしい徳島づくり推進事業	県内在住の外国人が住みやすい多文化共生のまちづくりを推進するため、とくしま外国人支援ボランティアの登録を促進するとともに、防災への意識を高めるため、「大規模災害時外国人対応想定訓練」や災害発生時に備えた支援のネットワークづくり等を実施した。 (11,470)
	とくしま国際戦略センター推進事業	外国人の受入れ体制を促進するため、「とくしま国際戦略センター」を設置し、多言語相談員(英・中・ベトナム)や4者間電話通訳システムによる外国人の生活相談を行う「多言語相談窓口」を運営するとともに、外国人の多様なニーズに対応する情報発信拠点として、外国人支援を実施した。 (20,000)
人権を尊重する社会づくりの推進	人権教育・啓発総合調整事業	「徳島県人権教育・啓発に関する基本計画」に基づき、同和問題をはじめ広く人権全般についての各種啓発事業を実施した。 (10,939)

項 目	事 業 名	事業内容及び成果
人権を尊重する社会づくりの推進 (続き)	人権教育啓発推進センター運営費	県の人権教育啓発推進の拠点である人権教育啓発推進センター「あいぼーと徳島」を運営するとともに、人権啓発イベントや人権講演会等、各種事業を実施した。 (79,056)
	みんなが主役の人権啓発推進事業	人権に関わるNPOなどの民間団体の育成を図るため、団体が実施する人権啓発推進に関する創意工夫のある取組みを募集し、事業委託の上、実施した。 (2,874)
	若者発！人権啓発映像コンテンツ発信事業	現在の社会情勢を反映した喫緊の人権課題への啓発を推進するため、若者を対象に人権啓発映像コンテンツを募集し、県民に発信した。 (466)
	とくしま共に生きるフェスタ開催事業	基本的人権の尊重とその擁護について正しい理解を深める機会を広く県民に提供するため、性の多様性をテーマとし、多様な人権に関する各種啓発事業を一体的・総合的に展開した。 (4,663)
	人権侵害ネットモニタリング強化事業	インターネット上の差別書き込みの抑止・削減や人権意識の高揚を図るため、大学生等を中心にとくしま人権ネットモニターを募集し、連携してモニタリングを実施した。 (141)
	隣保館運営費補助金	隣保館が、地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となり、各種相談事業や交流事業等を総合的に実施するため、その運営費を助成した。 (258,906)
	隣保館整備事業費補助金	市町が設置する隣保館について、老朽化等により大規模改修等が必要な場合に、その整備費用を助成した。 (61,207)
	いきいき隣保館支援事業	隣保館の相談機能の強化と交流の拠点としての機能の充実を図るため、県隣保館連絡協議会に委託して、隣保館職員のレベルアップ研修及び専門相談員の派遣事業を実施した。 (1,477)
男女共同参画社会づくりの推進	女性・若者が主役へ！地域参画人財育成事業	政策・方針決定過程への女性・若者の更なる参画拡大及び女性活躍推進のため、それぞれの年代毎に人材発掘及び育成機能を備えた内容の異なるプログラムを実施した。 (4,298)
	女性活躍ワンストップサービスセンター（仮称）整備事業	女性活躍推進法及び働き方改革関連法の施行や、第4次「徳島県男女共同参画基本計画」の策定を踏まえ、女性活躍や男女共同参画を強力に推進するため、「ときわプラザ（男女共同参画交流センター）」の更なる支援機能充実を図り、総合的な支援をワンストップで行うための整備を行った。 (84,745)

項 目	事 業 名	事業内容及び成果
男女共同参画社会づくりの推進 (続き)	男女共同参画交流センター運営事業	県民の男女共同参画の活動を支援、交流や情報の収集・提供を活発化するため、「ときわプラザ(男女共同参画交流センター)」の運営を行った。 (36,319)
	フレアキャンパス開講事業	男女共同参画社会の実現に向けた意識啓発や人材育成を行うため、「ときわプラザ(男女共同参画交流センター)」において、各種講座等を開催した。 (2,484)
	若年層からの「ストップ!DV」推進事業	重大な人権侵害であるDV根絶のため「DVの被害者も加害者も発生させない」という視点から、デートDV防止セミナーの開催等、若年層からのDV予防教育・啓発を実施した。 (1,058)
	DV被害者自立支援事業	配偶者等からの暴力防止と被害者の自立支援の充実・強化を図るため、関係機関との連携強化や民間団体の活動支援などを実施した。 (2,141)
	性暴力被害者支援センター運営費	性暴力被害者への支援の充実を図るため、女性相談員による相談受付や関係機関と連携した産婦人科医療、法律相談などの支援を実施した。 (4,924)
次世代育成支援対策の推進	とくしま在宅育児応援クーポン事業	保育所等を利用せず、在宅で0歳から2歳までの乳幼児を育児している世帯の心理的負担を軽減するため、様々な子育て支援サービスの利用料の支払いに使用できるクーポンを交付する市町村に対して、補助を行った。 (17,438)
	子育て支援サービス基盤強化事業	安心して子どもを産み育てることができる社会を実現するため、多様な子育て支援情報の発信や産前・産後の母親相談、ファミリー・サポート・センターの提供会員(預かる人)の増加対策など、地域の各種子育て支援サービスの需要に対するサービス供給基盤を強化し、様々な子育て支援サービスが利用しやすい環境の整備に努めた。 (3,705)
	企業が応援!「チーム育児」推進プロジェクト	「チーム育児」を推進する機運の醸成を図るため、「チーム育児」の趣旨に賛同し、自らチームの一員となって取組みを実践し、「チーム育児」の普及・啓発に協力する県内企業・団体を「チーム育児応援企業」として登録し、専用サイトにて紹介するとともに、先進事例は動画で配信を行った。 (1,000)

項 目	事 業 名	事業内容及び成果
次世代育成支援対策の推進 (続き)	とくしま結婚支援プロジェクト加速化事業	社会全体で独身者の結婚の希望が叶う環境を整備するため、「とくしまマリッジサポートセンター(マリッサとくしま)」を拠点として、マッチング(お見合い)、イベント、セミナー及び個別相談会を実施するなど、市町村、企業等関係機関と連携しながら、独身者の出逢いと結婚を後押しする結婚支援を行った。(28,423)
	地域少子化対策強化事業	本県の少子化対策をより一層強化するため、市町村が実施する結婚、妊娠・出産、子育てまでの切れ目ない取組みを支援した。(131)
	子育て総合支援センター事業	地域の子育て機能の総合力を高め、次世代育成支援を推進するため、子育て支援団体のネットワーク形成、子育て支援関係者に対する情報提供、専門的な相談への対応等の機能を持つ「子育て総合支援センターみらい」を運営した。(2,081)
	徳島県次世代はぐくみ未来創造基金積立金	徳島県の未来を創造する次世代の人材を育み、人口減少を克服するため、「徳島県次世代はぐくみ未来創造基金」を創設し、結婚、妊娠・出産及び子育てに対する支援その他の次世代育成並びに地方創生に資する事業を実施した。(300,078)
	放課後子ども総合プラン推進事業	「新・放課後子ども総合プラン」に基づき、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うため、放課後児童支援員等の質の向上や放課後児童クラブの受け皿の確保を推進した。(39,873)
	放課後児童対策事業費	就労等により、昼間家庭に保護者がいない児童に対し、適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全な育成を図るため、放課後児童クラブの運営費支援等を行った。(425,669)
	放課後児童クラブ利用料軽減事業	共働き家庭等の「小1の壁」を打破し、保護者負担の軽減を推進するため、第3子以降及びひとり親世帯等の児童に係る放課後児童クラブの利用料無料化に取り組む市町村に対し補助を行った。(16,446)
	保育人材確保等推進事業	子ども・子育て支援新制度の円滑な実施により、子どもを生き育てやすい徳島を実現するため、保育現場で保育等に従事する保育士等の人材確保や保育の質の向上に向けた取組みを総合的に推進した。(25,362)

項 目	事 業 名	事業内容及び成果
次世代育成支援対策の推進 (続き)	就業促進！保育人材確保強化事業	「待機児童の解消」に向けた最重要課題の一つである「保育人材の確保」を図るため、「保育士・保育所支援センター」のコーディネーター増員によるマンパワーの増強を主軸とした体制強化を図った。加えて、保育士を目指す人にとって、徳島県の保育士養成施設や保育所等を選択する決め手の一つとなる経済的サポート策や、働きやすい職場づくりとなる多様な働き方対策を促進した。 これら実効性のある「課題解決に向けた体制強化策」に徹底して取り組むことで、保育人材を確実に獲得し、保育士の県内での就職に繋がった。 (8, 979)
	保育士修学資金等貸付事業	保育人材の確保を図るため、保育士資格取得のための修学資金や潜在保育士の再就職時の就職準備金等について貸付を実施した。 (6, 157)
	多様な子育て支援推進交付金事業	「第2期徳島はぐくみプラン（後期計画）」に基づき、地域における子育て環境の向上を図るため、市町村が策定した子ども・子育て支援事業計画に沿って実施する地域子ども・子育て支援事業等に対し補助を行った。 (417, 813)
	とくしま子育てはぐくみ応援推進交付金事業	持続可能な子育て環境の向上を図るため、「第2期徳島はぐくみプラン（後期計画）」の基本方針に基づき、子育て支援ニーズや地域の実情に応じた県独自の交付金で積極的に支援することにより、市町村における機動的かつ戦略的な子育て支援策の推進を図った。 (13, 679)
	阿波っ子はぐくみ保育料助成事業	多子世帯における経済的負担を軽減するため、保育所における3歳未満の第3子以降の保育料無償化に取り組む市町村へ補助を行った。 (82, 956)
	とくしま保育対策総合支援補助金事業	「第2期徳島はぐくみプラン（後期計画）」に基づき、子どもを安心して育てることができる環境整備を図るため、アクティブ・シニア等の多様な人材の活用等を行う事業に対し支援を行った。 (26, 104)
	認定こども園整備事業費補助金	教育と保育の一体的提供、待機児童の解消及び幼児教育の環境改善等を図るため、認定こども園の施設整備に要する経費を市町村が補助する事業及び社会福祉法人が認定こども園の環境整備を行う事業に対し補助を行った。 (9, 458)
	退所児童自立支援資金貸付事業	児童の自立促進を図るため、児童養護施設等の退所児童等に対し、住居費等の貸付を行った。 (1, 512)

項 目	事 業 名	事業内容及び成果
次世代育成支援対策の推進 (続き)	虐待関係職員専門性強化事業	児童虐待の発生予防から迅速・的確な対応、アフターケアまで、切れ目のない支援を図るため、児童相談所への弁護士の配置及び児童福祉司等の専門性を強化する研修を実施した。(2,879)
	“STOP児童虐待”児童相談所体制強化事業	児童虐待に迅速、適切に対応し、児童の安全の確保、児童虐待の防止を図るため、児童相談所の相談機能等の強化を行った。(1,679)
	被虐待児等すこやか育成事業	徳島県社会的養育推進計画「徳島こども未来応援プラン」に基づき、フォスターリング体制構築や児童養護施設等の小規模化かつ地域分散化のための施設整備等を支援した。(39,301)
	社会的養護自立支援事業	措置延長を終了する児童養護施設等の入所児童の自立促進を図るため、相談体制を整え、原則22歳の年度末まで引き続き居住、生活費の支援を行った。(9,309)
	ひとり親家庭自立支援給付事業	ひとり親家庭の自立を支援するため、能力開発に必要な経費の一部や資格取得期間中の生活費の一部を支給した。(15,960)
	ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学し、就職に有利な資格の取得を目指すひとり親家庭の親を支援するため、入学準備金及び就職準備金の貸付を行った。(504)
	ひとり親家庭等医療費助成事業	ひとり親家庭の親及びその扶養する児童並びに父母のない児童の保健の向上及び福祉の増進を図るため、入院費及び子どもの通院費の助成を行った。(24,544)
	ひとり親家庭等かがやく未来応援事業	ひとり親家庭等の経済的自立と生活の安定を図るため、ひとり親家庭等が抱える多くの複雑な問題に対し、就業及び生活面において幅広く総合的に支援した。(23,695)
	子どもの居場所づくり推進事業	子どもたちを地域で見守り、交流できる場を提供する子ども食堂、学習支援、体験活動等の充実を図るため、コーディネーターを配置し、「子どもの居場所」づくりの取組みを支援した。(11,400)
	未収金対策強化事業	母子父子寡婦福祉資金貸付金の適正な管理と、未収金削減のため、サービサー(債権回収会社)に居所調査や督促業務の一部を委託し、債権回収の強化を図った。(751)
	児童保護措置費	児童福祉法に基づき、児童の心身の安全及び適切な養育環境を確保し、心身の健やかな発達及び社会的な自立を促進するため、児童福祉施設への措置に要する経費の一部を負担した。(4,316,772)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事業内容及び成果
次世代育成支援対策の推進 (続き)	児童扶養手当法施行給付費	児童扶養手当法に基づき、父又は母と生計を共にしていない児童等が育成される家庭の生活の安定と自立の促進に寄与するため、年間所得が基準限度額以下の世帯で、18歳(障がいのある児童の場合は20歳)に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者を対象として手当を支給した。(750,796)
	母子父子寡婦福祉資金貸付金	母子家庭等の経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、併せて扶養している児童の福祉を増進するための資金の貸付を行った。(159,236)
青少年対策の推進	「困難を抱える青少年をサポート!」ネットワーク推進事業	困難を抱えた子ども・若者を社会的自立に導くため、支援者を養成し、活動を促進するとともに、地域協議会における課題の共有や意見交換により、支援機関相互の連携とネットワークを強化した。(2,050)
	青少年活動支援事業	主体的に行動し、自立した青少年を育成するため、青少年センターを拠点とし、青少年指導者養成講座を開催した。(1,416)
	青少年センター管理運営事業	青少年の健全な育成を図るとともに幅広い層の県民に対するサービスを提供するため、「青少年センター」の適正な維持管理・運営を行った。(103,482)
文化の振興	あわ文化魅力向上事業	東京オリンピック・パラリンピック等の「3大国際スポーツ大会」の開催、さらに「大阪・関西万博」を絶好の機会と捉え、県民とともに「あわ文化」のレガシーを創出するため、「あわ文化4大モチーフ」「あわ三大音楽」を柱に据え、県民主役の「あわ文化」の更なる魅力の向上に取り組んだ。(17,685)
	あわ文化創造事業	未来に誇る「あわ文化」を創造し、次代に継承していくため、県民の文化活動への支援を充実するなど、活力と魅力あふれる県民主体の取組みを積極的に促進した。(20,026)
	あわ文化緊急対応事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、文化芸術活動の自粛を余儀なくされる中、「文化の灯」を消さないよう、全国屈指の光ブロードバンド環境を活かした「新たな発想」により、「あわ文化」の継承発展に繋がる「効果的」かつ「緊急的」な取組みを展開した。(7,690)
	阿波十郎兵衛屋敷管理運営費	指定管理者制度により、県立阿波十郎兵衛屋敷の管理運営を行うとともに、施設の安全性を高めるための修繕を行った。(32,159)

項 目	事 業 名	事業内容及び成果
文化の振興 (続き)	郷土文化会館運営費	指定管理者制度により、あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）の管理運営を行うとともに、施設の安全性や機能性を高めるための修繕を行った。 (177,406)
	文学書道館運営費	指定管理者制度により、県立文学書道館の管理運営を行うとともに、資料の収集・整理・保存を行った。 (241,839)
文化財の保存・活用の促進	未来へ継承！とくしまの「埋蔵文化財」ディスカバリー事業	「埋蔵文化財」の保存と活用を図るため、レキシルとくしま（埋蔵文化財総合センター）において、特別企画展や埋蔵文化財速報展を開催するとともに、地域において、学校文化財展等を開催した。 また、レキシルとくしまにおいて、所蔵する「重要文化財」の保存修理を行うとともに、特別収蔵庫の消火設備設置設計を行った。 (10,159)
	文化財保存修理事業	文化財保護に資するため、市町村及び指定文化財所有者等が行う文化財保存事業に対して支援した。 (8,356)
	阿波文化遺産次世代継承事業	地域社会が一体となり文化財の次世代への継承を図るため、県内文化財の総合的な保存・活用の方針を定める「徳島県文化財保存活用大綱」を作成するとともに、文化財（建造物）の防火対策を推進した。 (4,644)
	埋蔵文化財発掘調査・出土品整理事業	文化財保護に資するため、四国横断自動車道関連事業、吉野川河川改修事業等に伴う埋蔵文化財発掘調査等を実施した。 (219,068)
	「あわの至宝」調査・発信事業	文化財保護意識の高揚や地域の活性化を図るため、有形文化財（建造物、美術工芸品）調査研究の成果を、報告書として取りまとめ、周知・啓発を行った。 (1,857)
	守護町勝瑞遺跡支援事業	本県を代表する歴史文化遺産である「守護町勝瑞遺跡」を県内外に発信し地域振興につなげるため、藍住町が実施する「城館跡整備事業」に対し、支援を行った。 (2,971)
	「四国八十八箇所霊場と遍路道」を世界遺産に！推進プロジェクト	「四国遍路」の世界文化遺産登録に向け、資産の保護を進めるため、札所寺院、遍路道の文化財調査を行うとともに、県内関係団体との意見交換や講演会の開催等、機運の醸成を図った。 (9,511)
	「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進事業	「鳴門の渦潮」の世界遺産登録を推進するため、兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会において、学術的な調査や調査結果の普及啓発活動を実施した。 (3,700)

項 目	事 業 名	事業内容及び成果
文化財の保存・活用の促進 (続き)	ユネスコ「世界の記憶」チャレンジプロジェクト	「板東俘虜収容所関係資料」のユネスコ「世界の記憶」登録を目指すため、鳴門市、独ニーダーザクセン州、リューネブルク市と共同申請の準備を進めるとともに、機運の醸成を図った。(60)
世界に輝く「あわ文化」の創造・発信	アートによる文化プログラム促進事業	国内外への文化の発信と国際交流の促進を図るため、シュプレングル美術館と連携し、「ドイツ 20世紀 アート」一人・対話・みらいー～フロイデ！ドイツ・ニーダーザクセン州友好展覧会～を開催するとともに、県内美術団体、学生などの参加者と連携して展示作品を共同制作する県民参加型の「野外彫刻展」を開催した。(28,926)
	鳥居龍蔵生誕150周年記念事業	「鳥居龍蔵生誕150周年」と鳥居龍蔵記念博物館開館10周年を記念し、鳥居龍蔵の業績を検証するとともに、高校生の歴史文化に関する自主的な研究活動を支援するため、「全国高校生歴史文化フォーラム」及び「国際シンポジウム」を開催した。(810)
	図書館タイムマシン「現在・過去・未来」事業	図書館資料の新しい視点からの利活用及びとくしま電子図書館の魅力を発信するため、図書館メディアの現在と過去の比較展示や、これからの図書館を想像できるような講演会を実施した。(942)
	日本最古級恐竜化石含有層調査・発信プロジェクト	本県の古環境、古生物の実態解明と、それによる地域活性化を促進するため、日本最古級恐竜化石含有層の本格発掘調査と周辺環境調査及び魅力発信事業を実施した。(28,980)
	文化の森デジタルアーカイブ構築事業	文化の森各館所蔵の貴重資料への閲覧機会を増大させ、来館者の増加に結びつけるため、資料のデジタル化を推進し、手軽に閲覧利用できる環境を提供した。(25,543)
	ユニバーサルミュージアム展開事業	より多くの人に美術を楽しむ機会を広げるため、「ユニバーサル美術館展」の開催による情報提供手段の開発・実証や、美術館ロビーの機能強化、コンテンツの情報発信を実施した。(3,162)
	徳島自然災害歴史資料集編さん事業	文書館所蔵歴史資料の持つ意味や意義を広く周知するため、自然災害の歴史的事実を記録した古文書等をデジタル化し、県内外に発信するコンテンツを作成するとともに、厳選した資料を資料集として編さんした。(940)
	県立博物館新常設展構築事業	文化の森総合公園開園30周年を契機に、博物館常設展の展示構成を全面的に見直し、高精細映像やVR、ハンズオン等の手法を新たに取り入れた「新未来型展示」へ再構築するため、展示製作を行った。(560,120)

項 目	事 業 名	事業内容及び成果
世界に輝く「あわ文化」の創造・発信 (続き)	新常設展プレビュー展事業	県立博物館の新常設展グランドオープンに向けて機運を醸成するため、コンセプトや見どころを積極的にPRするプレビュー展や移動展を実施するとともに、オープン後を見据えた広報戦略の策定等を推進した。 (4,986)
	県立図書館「知の拠点」事業	「一步先の未来を先取る図書館」を目指し、電子書籍閲覧サービスの充実を図るとともに、子どもの本等の資料の充実や読書振興、市町村立図書館・学校図書館のサポートを図り、県民の読書、仕事、知的探究を応援する「知の拠点」として、機能強化を図った。 (45,500)
	文化の森各館企画展等開催費	本県文化を先導する拠点としての役割を果たし、文化活動の活性化を図るため、文化の森各館において企画展等を開催した。 (24,573)
スポーツの普及振興	「自転車でひろがる人・まち」づくりプロジェクト	県民の運動実施率向上や健康増進、観光・文化の振興等を図るため、サイクリングやポタリングの開催、フォトコンテストの実施により「自転車王国とくしま」ブランドを強力に発信した。 (2,603)
	スポーツ・イン・ライフ創造事業	スポーツを通じて県民の元気を創造する「スポーツ王国とくしま」づくりを推進するため、総合型地域スポーツクラブの質的充実を図り、だれもが日常的にそれぞれのライフスタイルに応じたスポーツを楽しむことのできる「スポーツ・イン・ライフ」を創造した。 (14,558)
	総合型地域スポーツクラブ活動再開支援事業	新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴って長期間活動を休止していた総合型地域スポーツクラブが、より安全・安心な環境の下で、持続的な活動再開ができるよう、感染防止対策モデルの策定・実践、イメージアップに向けた広報啓発及びオンライン教室等の実施環境整備を支援した。 (4,000)
	運動・スポーツ習慣化促進事業	新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴うスポーツ大会やスポーツイベントの中止・延期、長期に渡る外出自粛などにより、県民の運動機会が減少し、健康への悪影響や体力低下が懸念される中、県民の運動・スポーツへの参画を促進するため、県内の医療従事者や企業等と連携し、運動・スポーツの習慣化、きっかけづくりにつながる体制整備やイベント等を実施した。 (8,086)
	徳島育ち競技力向上プロジェクト	本県出身選手の全国大会等での活躍に資するため、優れた素質を有するジュニア競技者を発掘し、トップレベルの競技者へと育てる一貫指導システムを構築するとともに、トップ指導者の養成に取り組む団体を支援した。 (9,950)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事業内容及び成果
スポーツの普及振興 (続き)	国民体育大会派遣費	令和2年度の国民体育大会冬季大会(岐阜県)や四国ブロック大会に選手役員を派遣するため、旅費・宿泊費等必要な経費を補助した。 ※国民体育大会(鹿児島大会)は新型コロナウイルス感染症拡大のため延期 (965)
	あわスポーツ医科学強化プロジェクト	本県の競技力向上を図るため、スポーツ医科学情報を活用し、トップレベルの競技者・指導者を育成・サポートする環境を構築した。 (1,511)
	オリンピック選手輩出・国体飛躍プロジェクト	東京2020オリンピック・パラリンピック等の国際スポーツ大会に対する機運を一過性のものとせず、確実に競技力向上をレガシーとして継承するため、オリンピック選手の輩出及び国体の順位向上を図った。 (149,350)
国際スポーツ大会レガシーの創出 ・継承	ワールドマスターズゲームズ2021関西開催準備加速化事業	ワールドマスターズゲームズ2021関西を本県のスポーツツーリズムを牽引する大会とするとともに、開催レガシーを継承し、地域活性化の創出に繋げるため、来県者へのおもてなしの充実や競技運営態勢の整備等、開催に向けた本格的な準備の加速化を図った。 (86,866)
	新たなスポーツ大会・合宿スタイル確立事業	「WITH・コロナ時代」に求められる新たな大会・合宿スタイルを確立し、スポーツツーリズムを推進するため、「徳島県スポーツコミッション」を中核とした「モニター合宿」の実施及び実施側・受入側双方のノウハウの蓄積に取り組んだ。 (4,801)
	東京オリンピック・パラリンピック徳島未来創造基金積立金	東京2020オリンピック・パラリンピック等の国際スポーツ大会を見据え、機運を醸成するとともに、本県スポーツ及び文化の振興を通して、次代に誇れる成果を継承し、未来の活力ある徳島を創造する事業に要する経費に充てるため、東京オリンピック・パラリンピック徳島未来創造基金の積み増しを行った。 (202,192)
	東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ受入事業	東京2020オリンピック・パラリンピック各競技の事前キャンプ受入に向け、これまでのホストタウン相手国との繋がりを活かしたコロナ禍でも可能な方法による国際交流や、東京2020大会に向けた機運醸成、競技備品の整備などを行った。 (21,303)

Ⅲ 歳入歳出決算額

1 一般会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位：円)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 の 比 較
未 来 創 生 政 策 課	1,678,000	1,952,217	1,952,217	0	0	274,217
ダイバーシティ推進課	135,554,000	124,760,958	124,760,958	0	0	△10,793,042
男女参画・人権課	306,331,000	290,662,613	290,662,613	0	0	△15,668,387
次世代育成・青少年課	3,431,458,000	2,697,679,697	2,664,608,720	3,115,280	29,955,697	△766,849,280
文化・未来創造課	132,098,000	56,344,858	56,344,858	0	0	△75,753,142
文化資源活用課	345,912,000	250,438,943	250,438,943	0	0	△95,473,057
文化の森振興センター	373,180,000	370,639,204	370,639,204	0	0	△2,540,796
スポーツ振興課	568,770,000	460,568,154	460,568,154	0	0	△108,201,846
計	5,294,981,000	4,253,046,644	4,219,975,667	3,115,280	29,955,697	△1,075,005,333

(2) 歳出決算額

(単位：円)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 の 比 較
未 来 創 生 政 策 課	2,667,275,000	2,610,985,336	0	56,289,664	56,289,664
ダイバーシティ推進課	309,463,000	280,259,479	4,000,000	25,203,521	29,203,521
男女参画・人権課	717,793,000	649,763,188	11,390,000	56,639,812	68,029,812
次世代育成・青少年課	11,308,289,000	9,623,530,115	604,204,000	1,080,554,885	1,684,758,885
文化・未来創造課	623,645,000	511,438,188	22,990,100	89,216,712	112,206,812
文化資源活用課	427,816,000	308,642,892	516,000	118,657,108	119,173,108
文化の森振興センター	1,403,816,000	1,326,088,035	40,812,000	36,915,965	77,727,965
スポーツ振興課	1,218,531,000	1,028,968,295	95,632,000	93,930,705	189,562,705
計	18,676,628,000	16,339,675,528	779,544,100	1,557,408,372	2,336,952,472

2 特別会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位：円)

区 分	会 計 名	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
次世代育成・ 青少年課	母子父子寡婦 福祉資金貸付金 特別会計	243,850,000	481,959,819	301,824,810	2,234,681	177,900,328	57,974,810

(2) 歳出決算額

(単位：円)

区 分	会 計 名	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較
次世代育成・ 青少年課	母子父子寡婦 福祉資金貸付金 特別会計	243,850,000	159,235,728	0	84,614,272	84,614,272